

HONTAN

図書館ボランティア「本探」が 第47号
 司の図書館情報をお知らせします

北海道はまだ寒いですね... 2014年
 お家で読書でもいかが! 6月号

HONTAN 9 PIECES

今回のテーマは、
 「読むと元気がでる、
 もらえる本！」
 ですよ!

伊え上のおすすめ 北村薫 913.6/K

『スキップ』

自分で(は)どうしようもない困難に立ち向かうため、人々の助けを受けながら、前向きに生きていこうとする主人公。とても励みまされます。

鶏のおすすめ 土屋賢二 914.6/T

『幸・不幸の分かれ道: 考え違いと1モア』

考えや言い方を変えるだけで、元気が出て幸せになれる。そんな方法を教えてくれる一冊。

きいのおすすめ 有川浩 913.6/A

『キケン』

アクの強い先輩に振り回される主人公の話。寒ざ込んだ気分も吹っ飛びます!

Souのおすすめ 恩田陸 913.6/O

『夜のピクニック』

高校最後の歩行祭を通して、自分を見つめなおす高校生達の姿に読みあわせた後、清々しい気持ちになれる本です。

EIのおすすめ 三浦しもん 913.6/M

『舟を編む』

変人といわれる主人公が辞書編集部で力を発揮する物語。自分の個性に自信がもてる本です。

七味のおすすめ 森見登美彦 913.6/M

『夜は短し歩けよ乙女』

様々な古今事件や主人公の行動が面白く、文章が独特で読むと楽しくなります。

かなづちのおすすめ 森永会都 913.6/M

『気分上々』

主人公の葛藤や生き方を描いた9つの短編編集。読んだあと、明日も元気で頑張ろう、という気持ちになれます。

麻子のおすすめ 伊坂幸太郎 913.6/I

『陽気なギャングが地球を回す』

“ロマン(は)どこだ” テンポ良い展開で気分爽快です。

あんこのおすすめ 三谷幸喜 913.6/M

『清須会議』

歴史小説に挑戦してみたい方におすすめです。歴史が動く瞬間を知るの(は)楽しく明るくなりますよ!

『シャーロック・ホームズ』 778.72/S



2009年に制作された新生「シャーロック・ホームズ」、名探偵ホームズとしてだけでなく、アクションヒーローとしても難事件に挑むワイルドな活躍も見られます。ホームズ役のロバート・ダウニー・jrとワトソン役のジュード・ロウが格好いいです...! 二人のアクションシーンもあり、見応えある作品だと思います。続編である「シャドウ・ゲーム」もあるので、まずは今回紹介した「シャーロック・ホームズ」をぜひご覧ください!

<麻子>



今回のおしゃべり HONTAN のテーマは、「北星の図書館のここが好き、ここがいい!」です。

あんに 私が北星の図書館で女子きなどころは、小説をたくさん置いてくれているところです。ほかの大学の図書館は、専門的な本が多く、「ザ・大学の図書館」です。でも、北星の図書館は息抜きにでも、小説

読んでごらん、とでもいうような職員さんの優しさを感じられます。…と、私は勝手に思っています。新刊のほいるスピードもすごいですよ。流行の新刊がこんなにはやく読めるところも北星図書館の好きなところですよ!

七味 北星の図書館は吹き抜けなどの凝った作りではないですがこじんまりとして落ち着いて本を読めるのでお気に入り空間です。また、小説の新刊がすぐ入ってくるのもいいところだと思います!

かなづち 私も小説を沢山おいてくれているところと新刊をすぐに入れてくれているところがいいですよ!

あとほいで本を読んだり勉強したりできるように一人用の机が設けられているところもいいと思います。とても集中できるので、私は試験前によく利用しています。

EI 私が北星の図書館でいいな、と思うところは、今、社会で注目されている事柄に関連する本などがたくさんあり、詳しく知ることができるところがいいと思います。また、図書館は明る過ぎず落ち着いて、集中できるところが好きです。



『本日は大安なり』 辻村深月 9/13.6/T

6月の花嫁は「ジュンブライド」と呼ばれます。ジュンブライドは、もともとは6月に結婚した花嫁は幸せになれるといった欧米の言い伝えでした。しかし!日本の6月は梅雨

真っ最中ですよ。湿度の高い中で結婚式をしたいというひとはあまりいないでしょう。それでも結婚となると、外国の言い伝えでさえ気にしてしまうものです。

私たちの手帳には、暦が記載されています。「大安」とは、暦注である六輝の中で、何事においても全く良く成功しないこととはないとされる吉日で、結婚式などの祝い事には、特に向いています。

物語の舞台はそんな大安吉日、誰もが憧れる高級結婚式場。そこでは同日に4つの結婚式が行われています。式の主役である新郎新婦、ウェディングプランナー、そしてその周りの人たちのそれぞれの問題が交差したとき、とんでもないことが起こります。ドキドキさせられっぱなしのパニックエンターテインメントです。出版日が大安なところも大事なポイントです!

<スーモ>



『KAI』6月号

『KAI』は北海道の文化や生活に焦点をあてた情報雑誌です。6月号の特集は、「行ってみたい図書館へ」として「札幌中央図書館」や「幕別図書館」のほか釧路市の「紋本の館」、江別市の「北海道立図書館」などが取り上げられています。

各図書館の紹介や職員さんへのインタビューが掲載されているので、図書館が好きな人や興味がある人におすすめの一冊です。また、図書館だけでなく、博物館や写真館資料館の紹介もされています。記事を読んで、「行ってみたい!」と思えるような図書館の魅力が十分に詰まっています。ぜひ一度、お手にとって読んでみてください。

<かなづち>

展示でみつけて☆	学生展示	帯展示	編集後記
	今回のテーマは「写集特集」です。北星の図書館には小説や専門書だけでなく、写集も多くあることをご存知でしたでしょうか?文字だけでは分からない、写真から伝わる世界を感じてみてはいかがでしょうか!	今回の帯展示のテーマは、「生命が感じられる帯」です。少々堅苦しいテーマに聞こえてしまいがちですが、だうだうしがちな6月を「生きるぞ!頑張るぞ!」と感じながら過ごしてみてくださいね。	HONTANニュースも読んでくださっている皆さんこんにちは!北海道はようやく暖かくなりますね。個人的に、図書館は今頃の希節が一番過ごしやすいと思うので、今日も明日も明後日も図書館へ行く! <あんに>